

# アクティブラーニングを どう活かすか

日時 2016年 3月27日(日) 13:00-16:40

場所 東京大学本郷キャンパス小柴ホール

東京メトロ千代田線「根津駅」から徒歩10分/東京メトロ丸の内線・都営大江戸線「本郷三丁目」駅から徒歩15分/東京メトロ南北線「東大前」駅から徒歩6分(地図は[こちら](#))

## プログラム

「日本の授業実践研究に学ぶ」  
右近 修治 (東京都市大学)

「到達目標学習課題方式—概念獲得のための授業づくり」  
石井 登志夫 (埼玉県立与野高等学校)

「学びを助けるアクティブラーニングとは？」  
—日米中の物理授業比較から—  
土佐 幸子 (新潟大学)

## 総合討論

対象 物理教育に携わる方/物理教育に関心がある方

参加費 無料

定員 170名(申込先着順)

申込方法 (電子メール)

1. 氏名(ふりがな)
2. 年齢
3. 所属(勤務先, 在学名など)
4. 連絡先メールアドレス
5. 本シンポジウムを何で知ったか, を明記の上, 下記申込先までお申込みください。お預かりした個人情報は物理教育シンポジウムの運営のみに使用します。

申込・問合せ先

日本物理学会事務局 物理教育シンポジウム係

電子メール: kouza@jps.or.jp

電話: 03-3816-6201 FAX: 03-3816-6208

主催 日本物理学会物理教育委員会 共催 日本物理教育学会

後援 東京都教育委員会, 千葉県教育委員会, 埼玉県教育委員会, 神奈川県教育委員会